

みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動 推進協議会だより(平成28年9月号)

〔第2次ステージ運動スローガン〕

高めよう安全意識 加速させよう復旧・復興 達成しようゼロ災害

みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動推進大会が開催されました！

9月6日、仙台市青葉区旭ヶ丘の日立システムズホール仙台において、「みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動推進大会」（主催：みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動推進協議会）が開催されました。

大会は、東日本大震災発生から5年半が経過した中、建設業における労働災害ゼロに向けて意識の高揚を図り、早期復興に寄与することを目的として開催されたもので、県内で復旧・復興工事に携わる建設関係者535人が参加しました。

第一部では、主催者あいさつの後、現場の無災害に大きく寄与した職長等13人のゼロ災推進賞、建設業労働災害防止協会 宮城県支部長賞18人の表彰があり、その後安全宣言により参加した全員が災害ゼロで早期復旧・復興を進めていくことを確認しました。

第二部では、宮城労働局 齋藤健康安全課長の基調講演「復旧・復興工事における安全対策」、中央労働災害防止協会 ゼロ災推進センター所長 鈴木博仁氏による特別講演「効果的なKYの実践」、株式会社小野良組 技師 大宮知恵氏の事例発表「現場での取り組みとその環境づくり」の講演がありました。

※御参加いただきました建設関係者の方々、また、大会の開催に当たって御協力いただきました関係者の皆様には、改めて御礼申し上げます。

(大会の開催の様子)



みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動推進協議会
(事務局 宮城労働局労働基準部健康安全課)

「台風、記録的豪雨に伴う労働災害防止対策の徹底について」

宮城労働局では、「台風、記録的豪雨に伴う労働災害防止対策の徹底について」の事務連絡により、建設業関係団体あて下記のとおり要請しております。

各現場の責任者の方々は、強風時等の作業中止基準、強風・大雨後の作業開始点検等に留意の上、労働災害防止の一層の徹底を図るようお願いいたします。

事務連絡
平成28年9月9日

建設業関係団体 各位

宮城労働局労働基準部
健康安全課長

台風、記録的豪雨に伴う労働災害防止対策の徹底について

今般の台風10号、及び9月8日の記録的豪雨等においては県内でも被害が生じているところ
です。

県内では、台風による強風下での足場の組立を強行しようとした事例や、大雨後の地山掘削
作業等再開時の点検不徹底の事例が散見されています。

つきましては、強風・大雨時の作業中止基準及び指示システムの再確認、作業再開後点検の徹底、
土石流や土砂崩壊災害が懸念される場所で労働災害防止対策について一層の徹底を図るととも
に、別紙の事項を踏まえた安全な工事の実施について、関係者に周知いただきますようお願い
します。

なお、平成28年9月7日付けにて厚生労働省労働基準局安全衛生部長から「台風10号の影
響に伴う記録的豪雨による災害の復旧工事における労働災害防止対策の徹底について」を建設
業関係団体宛要請しておりますので、よろしく御対応方お願い申し上げます。

強風・大雨後の作業開始時の点検等留意事項（参考）

「別紙」

- 1 土止め支保工の点検 (労働安全衛生規則第373条)
- 2 明り掘削における地山の点検 (労働安全衛生規則第358条)
☞「斜面崩壊による労働災害の防止対策に関するガイドライン」参照
☞土石流危険河川における工事施工に当たっては、上流の河川の形状、崩壊地の状況
等の再確認、土石流の早期把握等の措置の検討、警報用設備及び避難用設備の点検、
警報及び避難の方法等を労働者への再徹底（安衛則第575条の9～16）
- 3 作業構台の点検 (労働安全衛生規則第575条の8（655条の2）)
- 4 足場の点検 (労働安全衛生規則第567条(655条))
- 5 ずい道等の建設における地山の点検 (労働安全衛生規則第382条)
- 6 ずい道等の建設における
可燃性ガスの濃度の点検 (労働安全衛生規則第382条の2)
- 7 ずい道支保工の点検 (労働安全衛生規則第396条)
- 8 採石作業前の地山等の点検 (労働安全衛生規則第401条)
- 9 林業架線設備の点検 (労働安全衛生規則第511条)
- 10 屋外クレーンの点検 (クレーン等安全規則第37条)
- 11 デリックの点検 (クレーン等安全規則第122条)
- 12 屋外エレベータの点検 (クレーン等安全規則第156条)

みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動推進協議会
(事務局 宮城労働局労働基準部健康安全課)